2026年度 第2四半期（中間期）決算説明会

2026年11月9日
株式会社ツムラ

本日の内容

01 長期経営ビジョン2031の実現に向けた展望

02 2026年度第2四半期（中間期）決算
2026年度業績予想の修正

TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031で目指すこと

パーパス：一人ひとりの、生きるに、活きる。



PHC：Personalized Health care
PDS：Pre-symptomatic Disease and Science

KAMPOmics®が拓く”未病”の科学化と漢方治療の個別化

KAMPOmics®



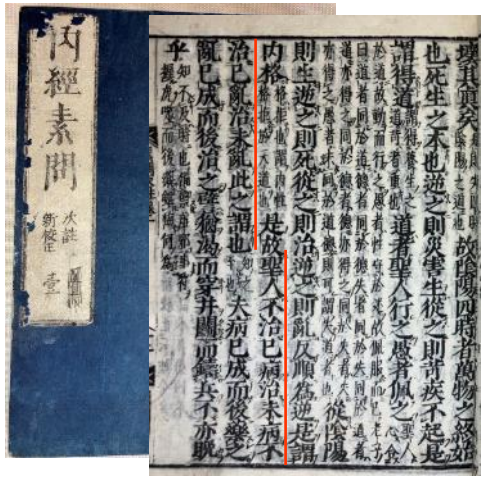
KAMPOmics®とは、ツムラが培ってきた先端技術分野（メタボロミクス・遺伝子・腸内細菌・システムバイオロジーなど）の研究を組み合わせ、日本の伝統医学である漢方医学と、多成分で複雑な漢方薬の作用機序を統合的に理解するために策定した当社独自の研究体系（商標登録）

PDS
“未病”の科学化

PHC
一人ひとりにあった
ヘルスケア提案

- **イントロン・リテンションを通じた未病の科学化（未病検査サービス＆漢方治療）**
- 冷え症の未病・個別化医療（漢方診断サポートシステムの応用）
- 腸内細菌叢・メタボロームなどに着目したレスポンダーマーカーの研究開発

漢方医学で「未病を治す」



聖人と言われる人は、完全に発病してしまった患者を治療するのではなくて、当然発病するであろうことを予測して、先手を打って治療（**治未病**）を施すものである（**黄帝内経【素問】**）

漢方医学では疾患・症状の治療だけでなく「未病」の治癒も重視し、四診により主観的な訴えや身体所見等から状態を捉える

漢方医学的未病

現在の一般的な検査では異常を認めないものの自覚症状がある状態

×

西洋医学的未病

健診などの検査値が基準範囲の境界付近にあるものの、疾病の診断基準には至っていない状態

未病三防

治未病（未病先防）　重症化抑制（既病防変）　再発抑制（癒後防復）

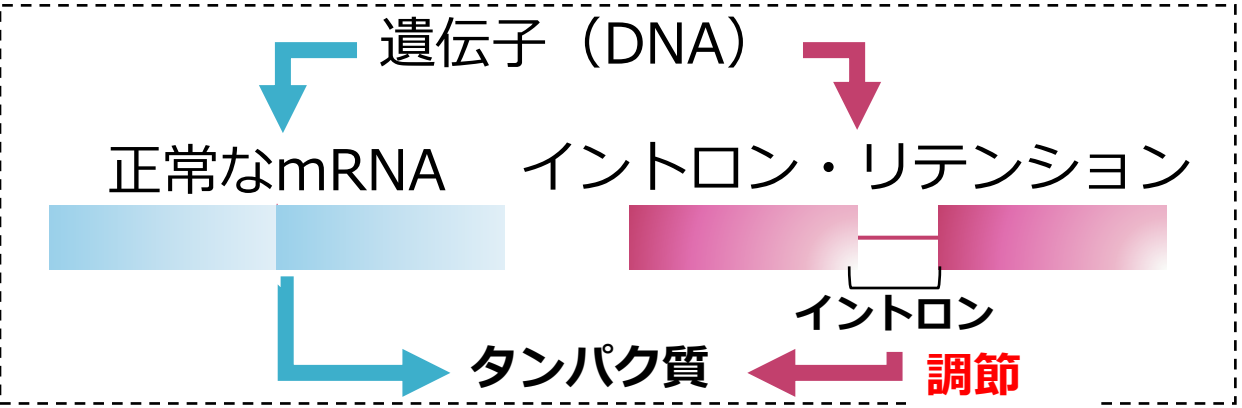
KAMPOmics®

「未病の科学化」への挑戦

イントロン・リテンション（IR）による未病の科学化

共同研究：北里大学薬学部「健康長寿ゲノム講座」**岡田典弘先生**

イントロン・リテンション（IR）



ヒト血液を用いたイントロン・リテンション（IR）状態の評価

イントロン・リテンション（IR）を用いた"未病"可視化に向けた新たな分子指標の可能性に関する論文掲載のおしらせ

当社ニュースリリースより

2026年05月11日　お知らせ

北里大学薬学部「健康長寿ゲノム講座」との共同研究を通じて、イントロン・リテンションと呼ばれるRNAの加工状態が、細胞の恒常性（ホメオスタシス）の乱れを反映する上流の調節層に関与し、未病状態を可視化する有望なバイオマーカー（分子指標）となり得る可能性を明らかにしました。

これらの知見は、健康状態の変化を客観的に可視化するとともに、介入効果の評価にも活用できる可能性を示すものであり、未病領域における社会実装を後押しする重要な研究基盤となることが期待されます。

「未病の科学化」の計画進捗

	第1期中期経営計画 2022～2024年度	第2期中期経営計画 2025～2027年度	第3期中期経営計画 2028～2031年度
	基礎的エビデンス	IR未病マーカーの臨床的応用	社会実装への検証
エビデンス構築	臨床研究：IRの抑うつ症状に対するマーカーのエビデンス構築	臨床研究：IR未病マーカー 抑うつ症状に対する検証	臨床研究：IR未病マーカー 臨床コホート等での性能検証 → 実装検証：パイロット評価 → 社会実装
	基礎研究：IRを用いた老化関連等に対する漢方薬のエビデンス構築	臨床研究：IR未病マーカー フレイルに対するマーカーのエビデンス構築	実装検証 → 社会実装
IR診断開発	マーカー候補 → 技術開発：IR診断キット開発		性能評価：臨床コホート等での性能検証 → 実装検証：パイロット評価 → IR診断確立

研究成果から開発・実装へ取り組み

ツムラ先端未病研究所（仮）
2029年度　柏の葉において研究開発体制構築予定



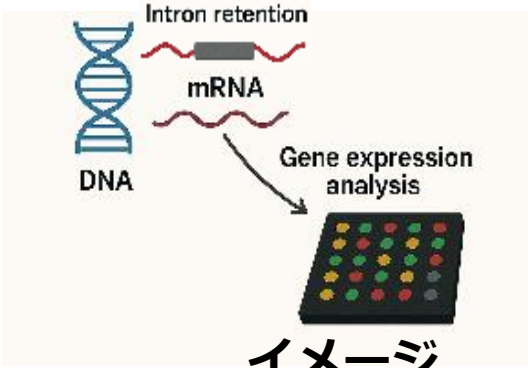
イメージ（柏の葉サテライトラボ）

2025年
企画・コンセプト設計
アッセイ開発（試薬設計）
プロトタイプ試作
2027年
基礎評価
性能確認
検査会社との連携
2029年
製造スケールアップ
市販前評価
検査キット化
2031年
市販化

測定法開発

臨床コホート等による検証

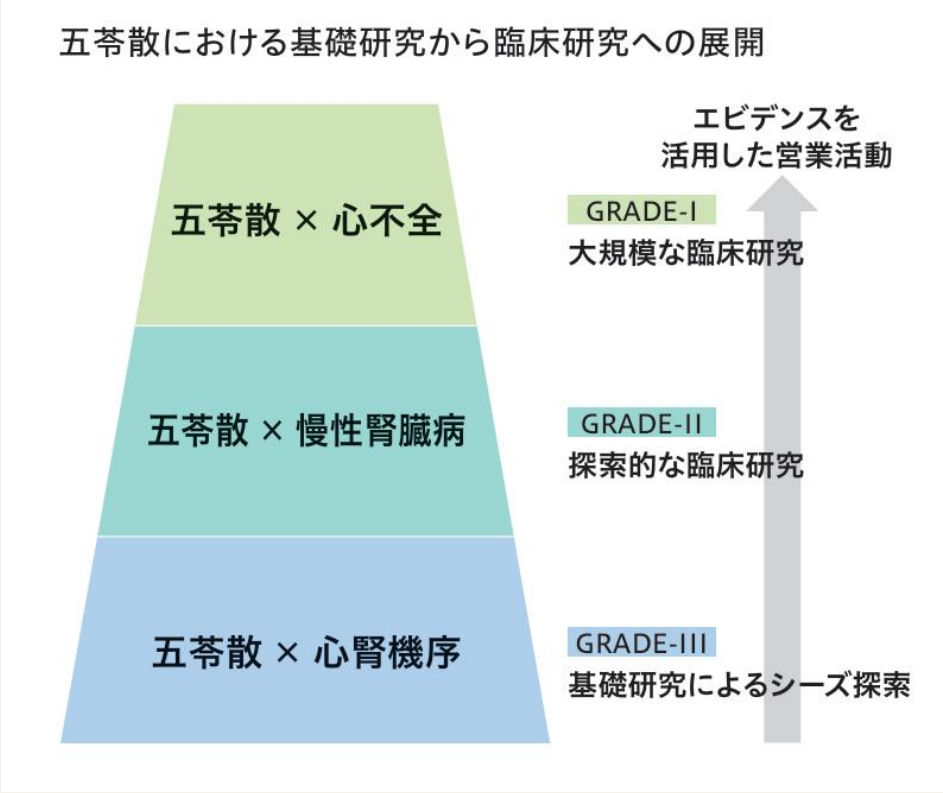
製造・サービス
他社アライアンス検討



イメージ

国内事業：医療用漢方市場の持続的な成長

エビデンス構築による
新たな漢方治療選択肢の創出



未病の科学化による
新たな価値創造と市場創出



未病状態の早期発見・早期介入
（漢方薬処方など）

漢方医学に基づき「診療領域基本処方」を処方する医師数の増加

中国事業：３つの事業展開

第1期中期経営計画 2022～2024年度	第2期中期経営計画 2025～2027年度	第3期中期経営計画 2028～2031年度

生薬・中薬飲片事業

上海虹橋中薬飲片との提携
事業基盤の確立



飲片

中薬飲片付加価値サービス
「一人一方」の拡大



流エキス



エキス顆粒

大健康事業



ツムラグループの生薬品質を強みとした薬食同源製品

中成薬事業



中成薬

中国事業：中薬飲片事業で目指す姿

高品質な生薬と「一人一方」を強みに、治療効果・利便性を高める事業モデルの構築と、人口の多い他地域への展開を模索し、中薬飲片事業の拡大を目指す

上海虹橋中薬飲片有限公司

・多品目な中薬飲片の製造・販売
・上海市場における有力な販路
・上海における中薬飲片のブランド



×

ツムラグループの強み





生薬GACPにより畑から管理した高品質な生薬





中薬飲片付加価値サービス「一人一方」

養命酒製造との協業で、「養生」の事業基盤を強化

ツムラ

次のすこやかさへ、一歩一歩

Yomeishu

医療用漢方製剤
品質・技術・情報

医療用漢方製剤で培った生薬から製剤までの品質・技術・情報と生薬及び複合製剤の研究ノウハウ

×

薬酒市場シェア
99.9%

薬酒市場における圧倒的なシェアと滋養強壮剤市場において、完成度の高い薬用養命酒のブランド力

※出所：ID-POSデータ（ドラッグストアパネル、全国500店規模、2025年4月～2026年3月）
薬用酒カテゴリの購入金額シェア

薬酒市場の再活性化
将来の核となる新たな商品開発
「養生」のトップランナー

養生の発信拠点：養命酒 養生の森

養生を知り、体験し、Well-beingの実現へつなげる養生の発信拠点



長野県駒ケ根市

本日の内容

01 長期経営ビジョン2031の実現に向けた展望

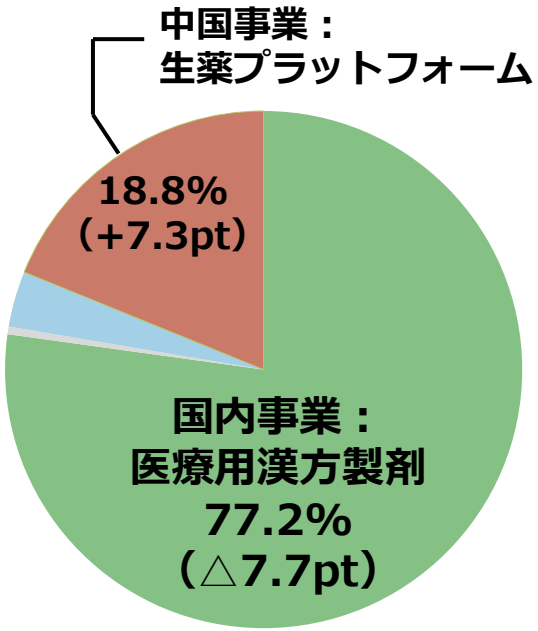
02 **2026年度第2四半期（中間期）決算**
2026年度業績予想の修正

2026年度 第2四半期 （中間期）決算概況

【百万円】	2026年度 2Q期初計画	2026年度 2Q実績	達成率	前年同期比	
				金額	増減率
売上高	**102,500**	**103,441**	**100.9%**	**+13,543**	**+15.1%**
国内事業	81,700	83,945	102.7%	+4,405	+5.5%
中国事業	20,800	19,495	93.7%	+9,138	+88.2%
営業利益	**17,200**	**18,848**	**109.6%**	**+1,728**	**+10.1%**
国内事業	16,300	17,377	106.6%	+241	+1.4%
中国事業	900	1,471	163.5%	+1,486	–
経常利益	**16,400**	**20,316**	**123.9%**	**+3,897**	**+23.7%**
親会社株主に帰属する **中間純利益**	**11,100**	**16,203**	**146.0%**	**+3,725**	**+29.9%**

＊ 2026年9月より養命酒製造株式会社の財務諸表を連結

売上高構成比率



（　）内：前年同期比

国内事業：
ヘルスケア製品（一般用漢方製剤等）
3.5%（+0.5pt）

国内事業：
その他 0.5%（△0.1pt）

決算のポイント

売上高	**103,441**	**百万円**	上期計画達成率＊ 100.9%	前年同期比	+15.1%

- 国内事業　医療用漢方製剤（129処方）：79,843百万円　前年同期比 4.7%伸長
  ヘルスケア製品（一般用漢方製剤、薬用養命酒等）：3,610百万円　前年同期比 32.8%伸長
- 中国事業　生薬PF（原料生薬、飲片、大健康製品等）：19,495百万円　前年同期比 88.2%伸長

営業利益	**18,848**	**百万円**	上期計画達成率＊ 109.6%	前年同期比	+10.1%
営業利益率	**18.2**	**%**	上期計画比＊ +1.4pt	前年同期比	△0.8pt

- 原価率　：53.0%　上期計画比＊ △0.5pt　（対計画：中国事業売上高比率の減少）
  前年同期比 ＋1.4pt　（対前年：為替の影響および中国事業売上高比率の増加）
- 販管費率：28.8%　上期計画比＊ △1.0pt　（対計画：各種活動見直し、期ズレ）
  前年同期比 △0.5pt　（対前年：研究開発費等の増加を売上高で吸収）

経常利益	**20,316**	**百万円**	上期計画達成率＊ 123.9%	前年同期比	+23.7%

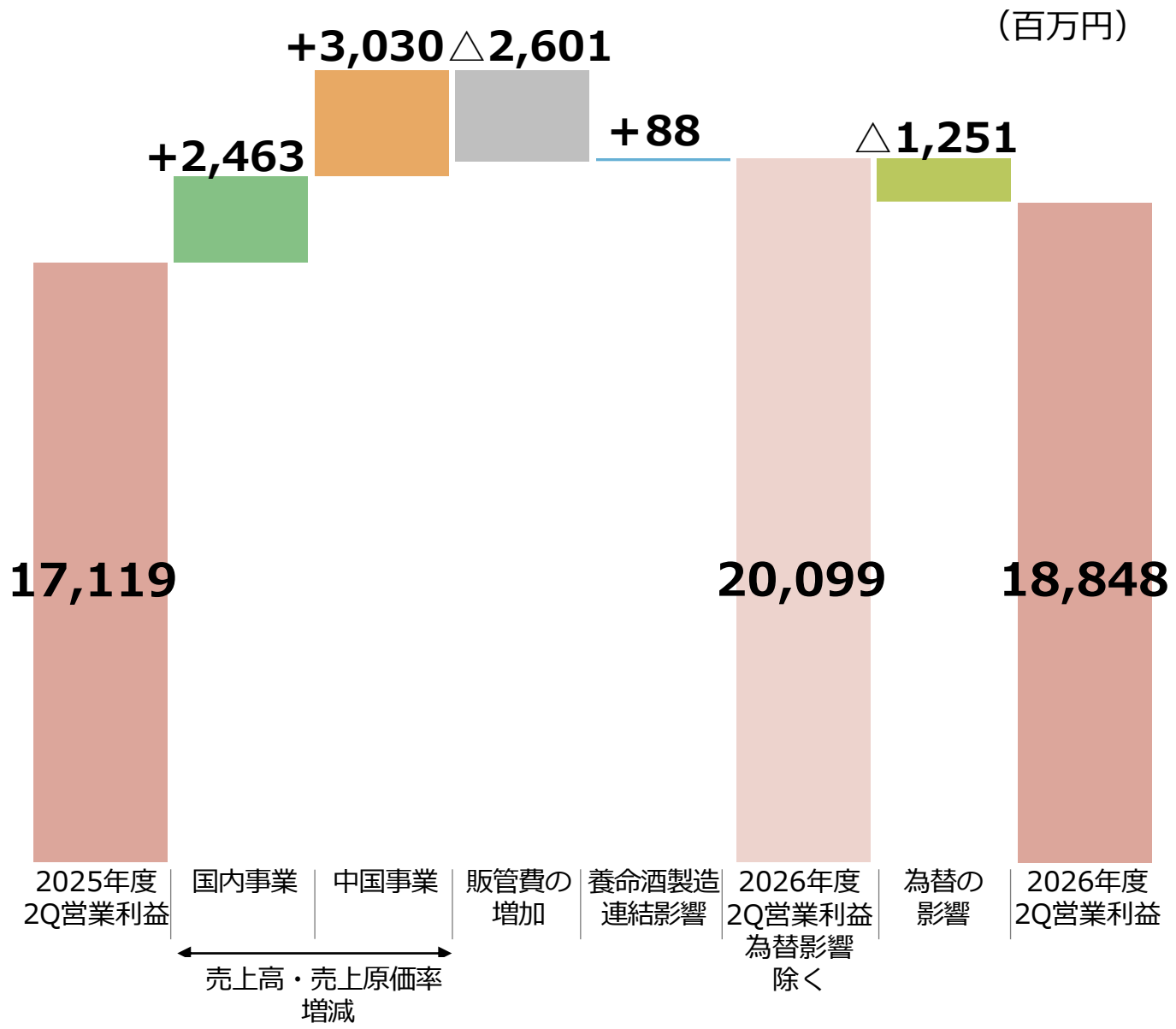
- 海外子会社への貸付金等に係る為替差益：2,029百万円　前年同期は為替差損 789百万円

親会社株主に帰属する **中間純利益**	**16,203**	**百万円**	上期計画達成率＊ 146.0%	前年同期比	+29.9%

- 養命酒製造の株式取得に伴う負ののれん発生益：1,765百万円（PPA確定前の暫定金額）
- 政策保有株式売却益：1,368百万円　前年同期比 △608百万円

＊ 5/13公表 期初計画比

営業利益の増減要因（前年同期比）



国内事業　+2,463百万円 *1	
売上高の増加（販売数量、販売構成）	+1,911
売上原価率の低下	+552
生薬費	+613
原資材費	△418
加工費	+357

中国事業　+3,030百万円	
売上高の増加	+950
売上原価率の低下	+2,080

販管費の増加　△2,601百万円 *1	
虹橋飲片の連結（うち無形資産、のれん等償却費：△738）	△1,653
給料諸手当 *2	+127
研究費 *2	△497
その他 *2	△578

養命酒製造連結影響　+88百万円

為替の影響　△1,251百万円

*1 養命酒製造連結影響を除く
*2 虹橋飲片連結影響を除く

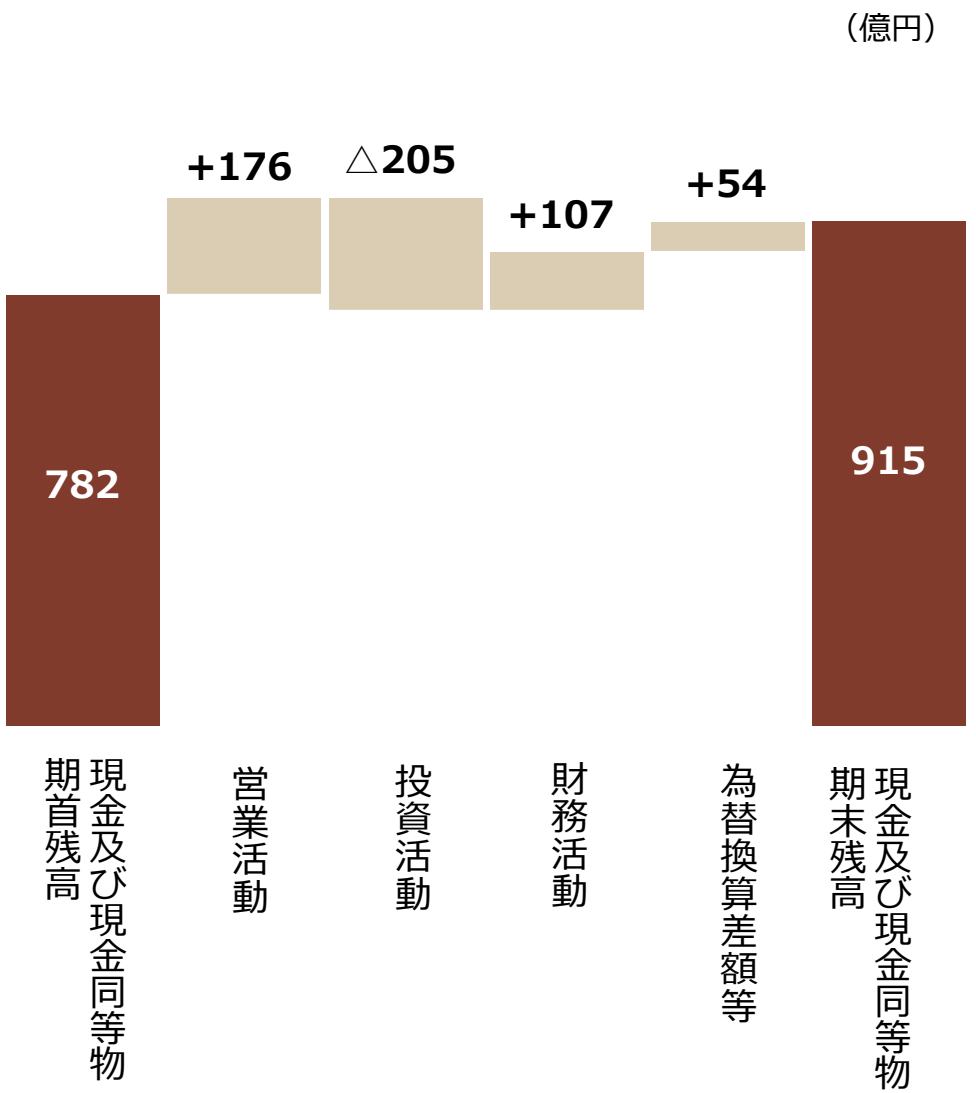
財政状態およびキャッシュ・フロー

（百万円）

	2025年度 （2026年3月末）	2026年度 2Q	増減額	（参考） 養命酒製造 個別B/S＊
資産合計	**592,766**	**657,399**	**64,632**	**19,498**
流動資産	349,212	388,214	39,002	13,759
固定資産	243,553	269,184	25,630	5,738
負債合計	**221,162**	**261,611**	**40,448**	**10,700**
流動負債	83,257	118,872	35,614	10,694
固定負債	137,904	142,738	4,833	5
純資産合計	**371,603**	**395,788**	**24,184**	**8,798**
自己資本比率	54.3%	51.7%	△2.6pt	

＊養命酒製造の数値は個別B/Sであり、連結仕訳等の影響を含まない

	2025年度 （2026年3月末）	2026年度 2Q	増減額	内、為替
棚卸資産計	**164,006**	**173,731**	**9,724**	6,168
商品及び製品	24,262	23,560	△701	425
仕掛品	25,115	30,949	5,834	365
原材料及び貯蔵品	114,629	119,221	4,592	5,379



国内事業：医療用漢方製剤　処方別売上高

（百万円）

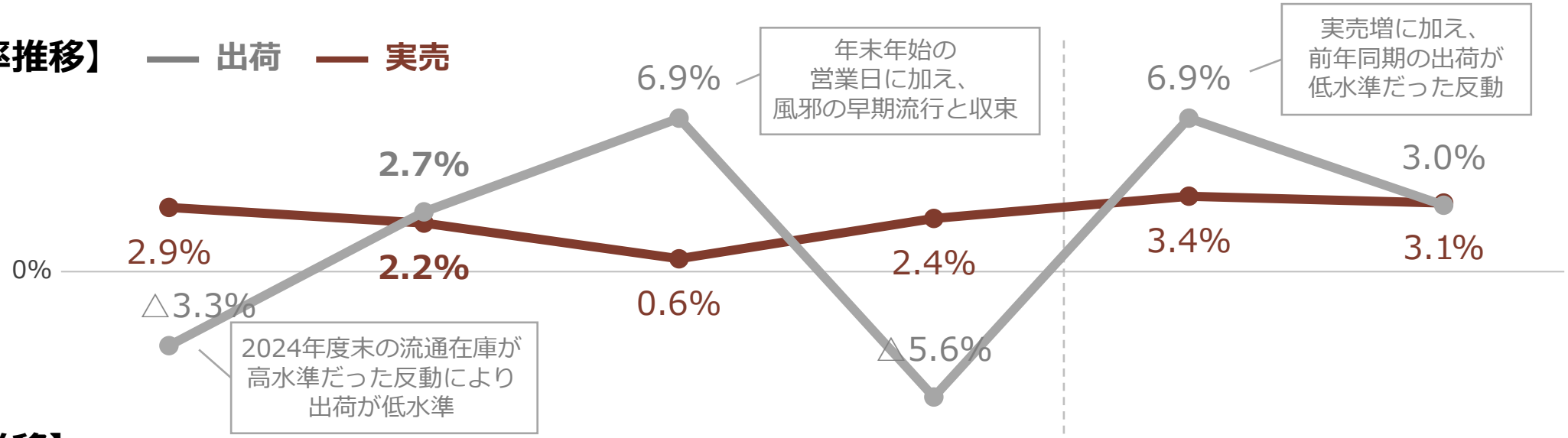
	売上順位	製品No. / 処方名	2025年度 2Q	2026年度 2Q	前年同期比		【参考：実売数量*】前年同期比
育薬処方	1	100 大建中湯	7,361	7,684	+322	+4.4%	+3.3%
	2	54 抑肝散	5,600	5,755	+154	+2.8%	+1.1%
	5	43 六君子湯	3,600	3,792	+192	+5.3%	+2.8%
	7	107 牛車腎気丸	2,783	2,999	+215	+7.8%	+5.3%
	25	14 半夏瀉心湯	759	837	+78	+10.3%	+7.7%
育薬処方合計			20,105	21,069	+963	+4.8%	+3.0%
Growing処方	3	17 五苓散	4,299	4,949	+649	+15.1%	+16.2%
	4	41 補中益気湯	3,866	3,875	+9	+0.2%	△1.6%
	9	24 加味逍遙散	2,513	2,719	+206	+8.2%	+5.0%
	17	137 加味帰脾湯	1,207	1,345	+137	+11.4%	+9.0%
	20	108 人参養栄湯	1,003	1,089	+86	+8.6%	+2.5%
Growing処方合計			12,889	13,978	+1,088	+8.4%	+8.3%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			43,277	44,796	+1,518	+3.5%	+2.1%
医療用漢方製剤129処方合計			76,273	79,843	+3,570	+4.7%	+3.2%

＊実売数量とは、医薬代理店・卸から医療機関に納入された数量

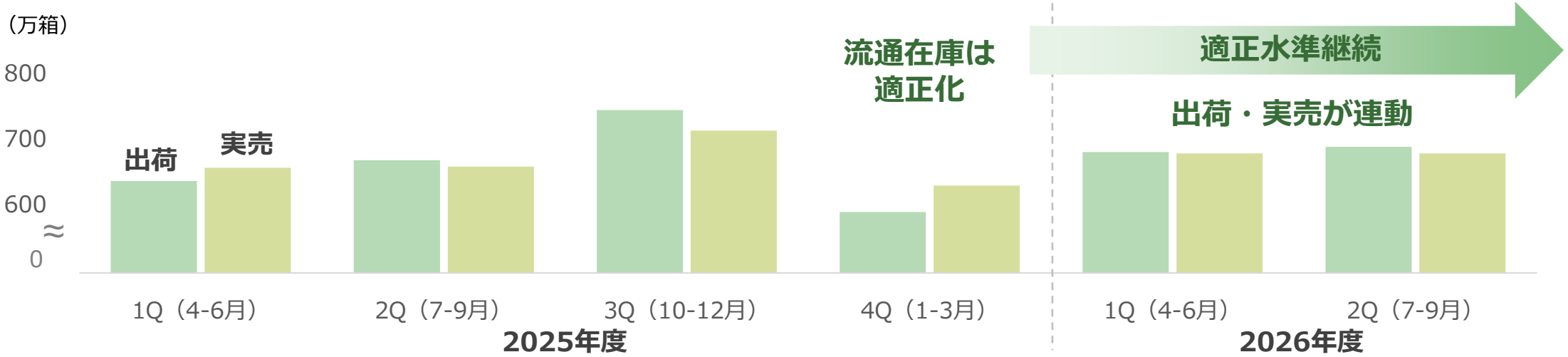
国内事業：出荷数量と実売数量の四半期推移

流通在庫は適正水準が継続。出荷・実売数量は連動して推移

【伸長率推移】 出荷 実売



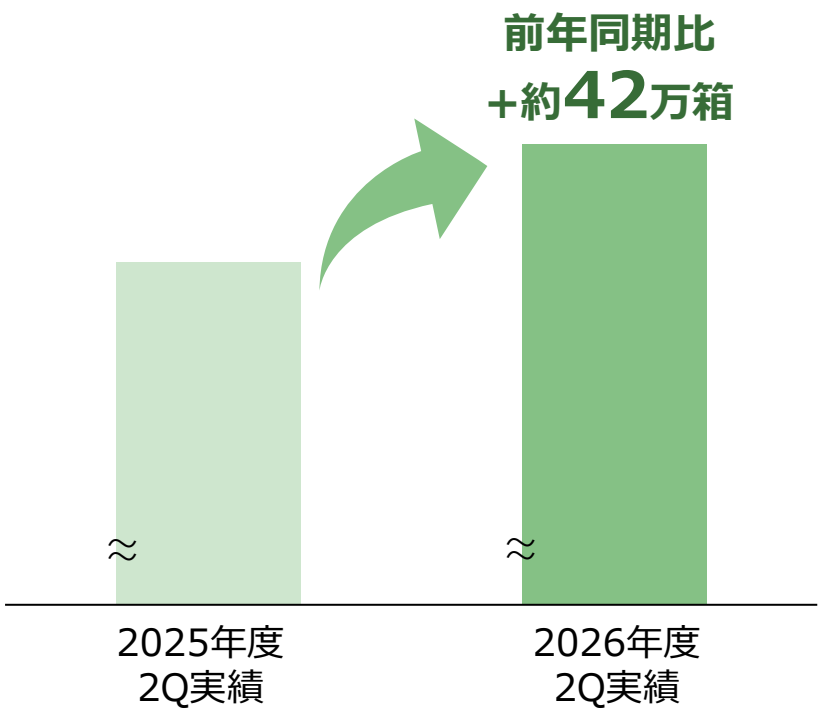
【数量推移】



国内事業：医療用漢方製剤 2Q実売の状況

外部環境によるマイナス影響を各種施策の効果により吸収し、大幅な伸長を実現

2Q実売数量推移

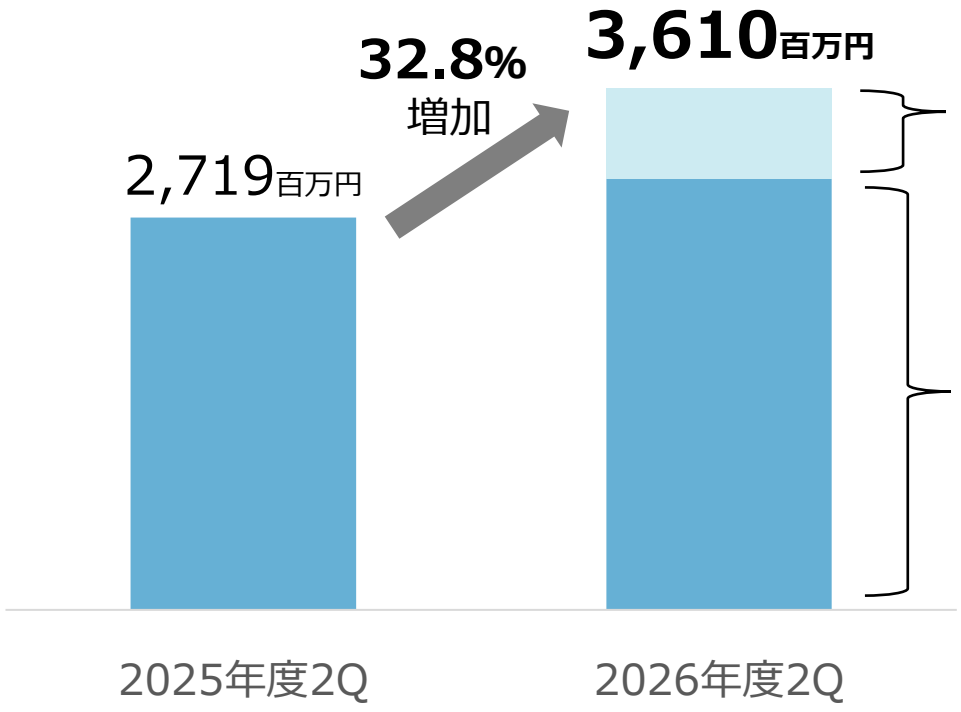


	前年同期比
【主な増加要因】	
● 雨天による五苓散の大幅伸長	+約13万箱
● 既存施策の継続効果（がん関連、女性関連含む）	+約29万箱
● 新規施策の伸長	+約5万箱
【主な減少要因】	
● 夏場の天候不良や残暑の短さによる、暑気あたり、夏やせ関連処方の減少	△約3万箱
● 風邪関連処方が例年より低位に推移	△約2万箱

国内事業：ヘルスケア製品

- 2026年9月から養命酒製造株式会社を連結
- ヘルスケア製品の売上高は前年同期比32.8%伸長

ヘルスケア製品　売上高



養命酒製造

連結効果
＋624百万円



薬用養命酒



幸健生彩



クロモジのど飴


五養粥



めぐりのお酢



和養生にゅうめん


養生スープ

ツムラ

9.8%増加



一般用漢方製剤



バスハーブ



ジネリア



のど飴・たかめるのど飴


養巡スープ


富麗華スープ

2026年度 業績予想の修正

養命酒製造の新規連結と国内および中国事業の販売見通し等を踏まえ、業績予想を修正

【単位：百万円】	2026年度 期初計画	2026年度 修正計画	増減 金額	増減 増減率	修正理由
売上高	**213,600**	**218,500**	**+4,900**	**+2.3%**	国内事業：養命酒製造の新規連結および医療用漢方製剤の販売見通しを上方修正 中国事業：販売見通しを下方修正
国内事業	167,600	174,400	+6,800	+4.1%	
中国事業	46,000	44,100	△1,900	△4.1%	
営業利益	**37,500**	**38,400**	**+900**	**+2.4%**	国内事業：養命酒製造の新規連結および販管費等の見直し 中国事業：原価低減および販管費等の見直し
国内事業	34,800	35,600	+800	+2.3%	
中国事業	2,700	2,800	+100	+3.7%	
経常利益	**35,500**	**36,400**	**+900**	**+2.5%**	当期純利益：政策保有株式の売却益および養命酒製造の株式取得に伴う負ののれん
親会社株主に帰属する **当期純利益**	**26,200**	**29,300**	**+3,100**	**+11.8%**	

EPS	**351.46円**	**393.03円**
ROE	**8.0%**	**8.9%**

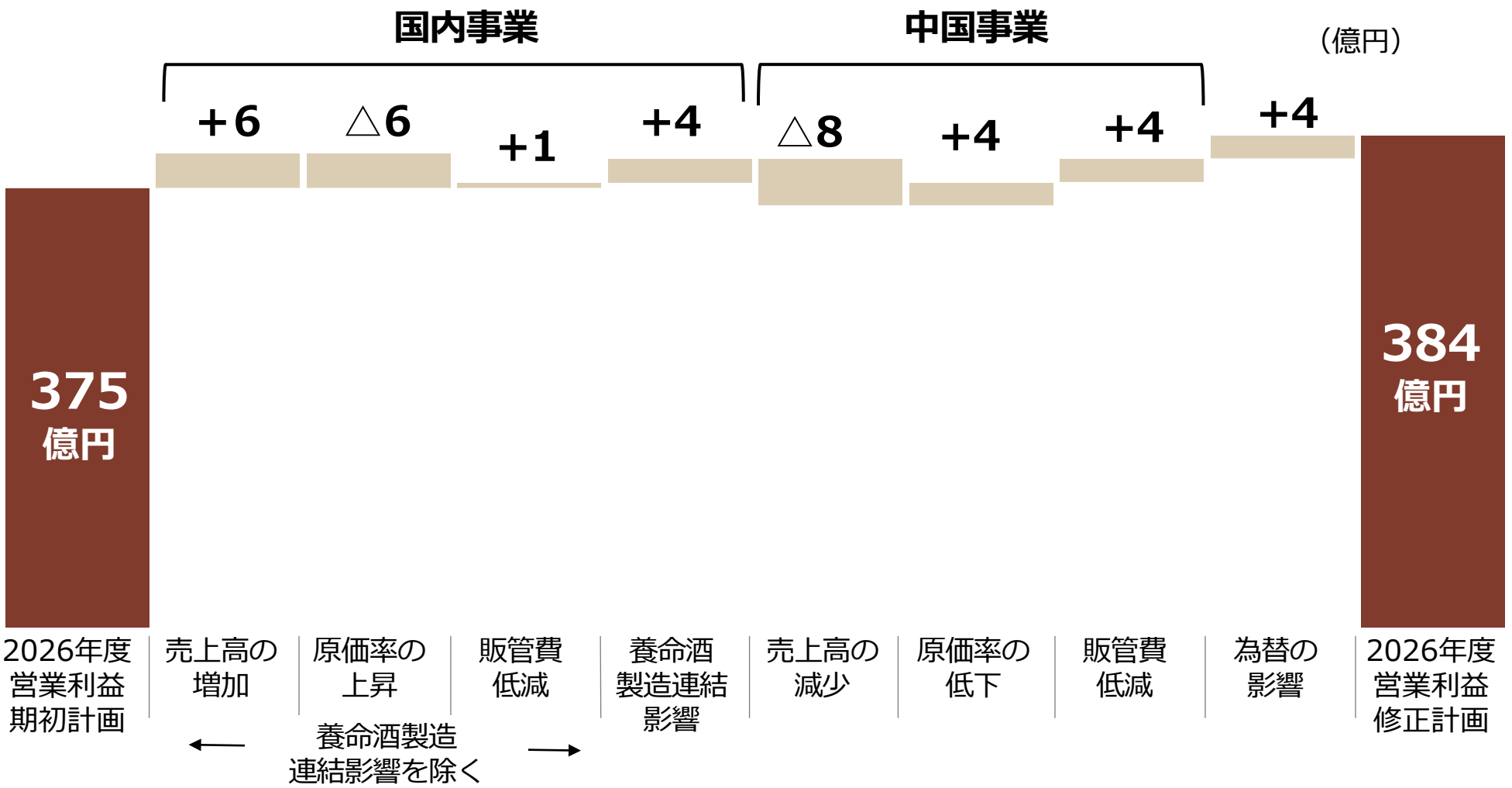
※想定為替レート：1元＝22.6円から23.5円に変更

（参考）	2026年度期初計画	2026年度修正計画
のれん償却前営業利益*	**386億円**	**395億円**
同上 EPS*	**366.20円**	**407.78円**
同上 ROE*	**8.3%**	**9.2%**
EBITDA（同率）	**520億円（24%）**	**529億円（25%）**

*平安津村薬業および虹橋飲片連結子会社化に伴うのれん償却金額のみ調整

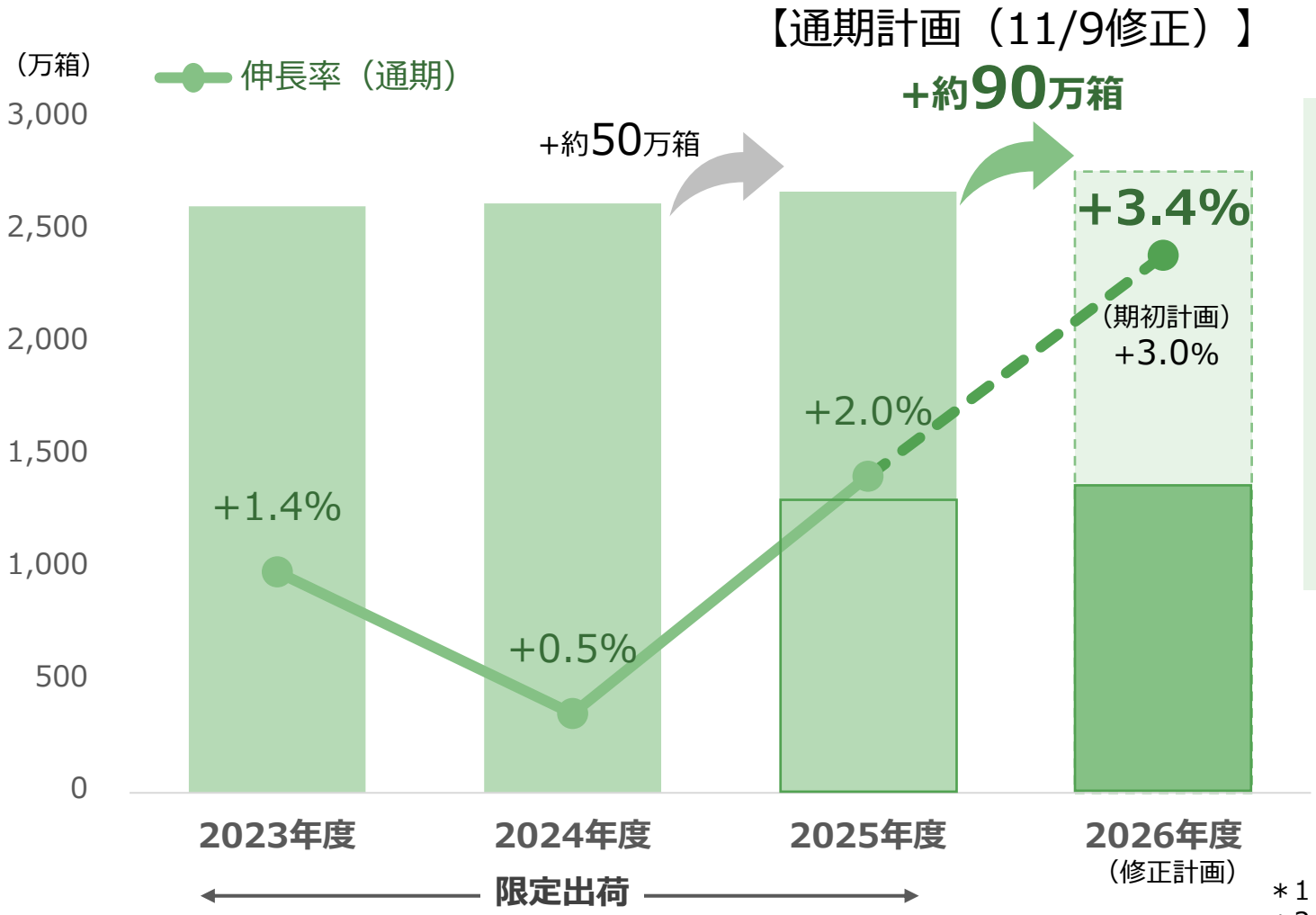
営業利益予想の増減要因（期初計画比）

養命酒製造の新規連結や販管費の見直し等により、営業利益予想を384億円に上方修正



国内事業：医療用漢方製剤129処方の実売数量（修正計画）

上期実績を踏まえ、通期計画を修正。下期は期初計画通り100万箱ペースの伸長を計画



	期初計画	修正計画
① 新規施策 2項目＊1	+約30万箱	**+約30万箱**
② 昨年度伸長ペース 既存施策＊2	+約50万箱	**+約60万箱**

2Q実績

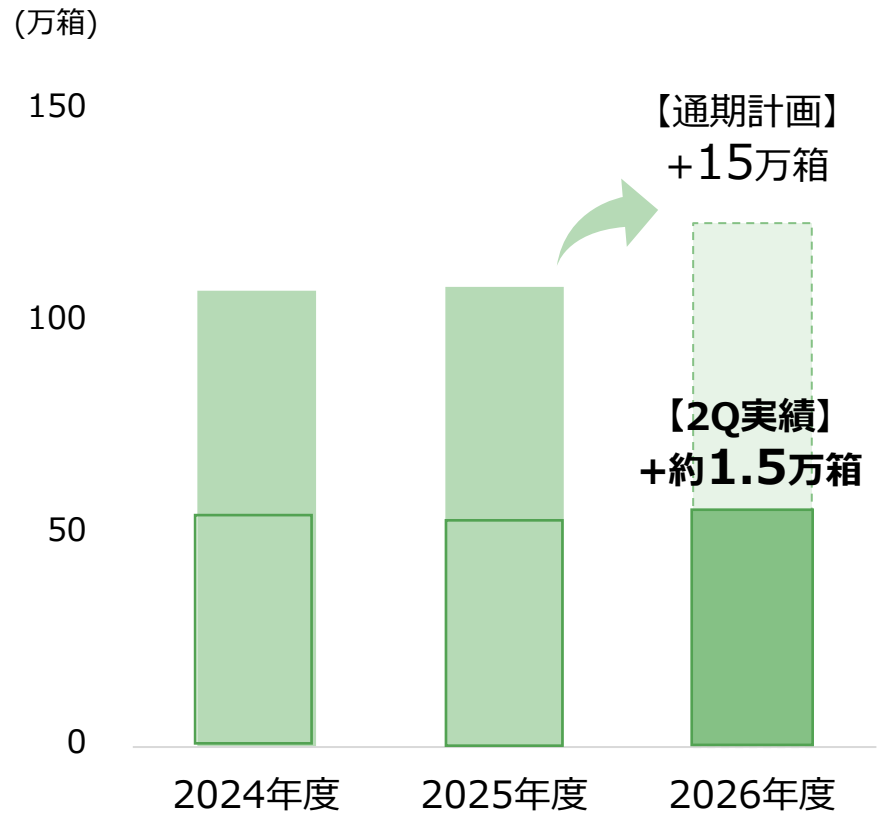
① 新規施策	+約5万箱	**+約42万箱（+3.2%）**
② 既存施策	+約37万箱	

＊1 対象処方：六君子湯、抑肝散、抑肝散加陳皮半夏、酸棗仁湯、加味帰脾湯
＊2 上記5処方を除くその他124処方

国内事業：六君子湯の機能性胃腸症の消化器症状に対する訴求強化

2Qから施策が本格化。下期にかけて一段の活動強化、効果の表出を見込む

六君子湯実売数量推移



主な実施施策

毎月のイベント実施により
認知向上・処方機会の大幅拡大を目指す

- 5月　ROME Vへの継続掲載
- 8月　医師向け新規資材 Webセミナー
- **10月　患者様向け新規資材**
- **11月　Webセミナー**
- **12月　Webセミナー**
- **1月　医師向け新規資材**
- **2月　大規模Webセミナー**



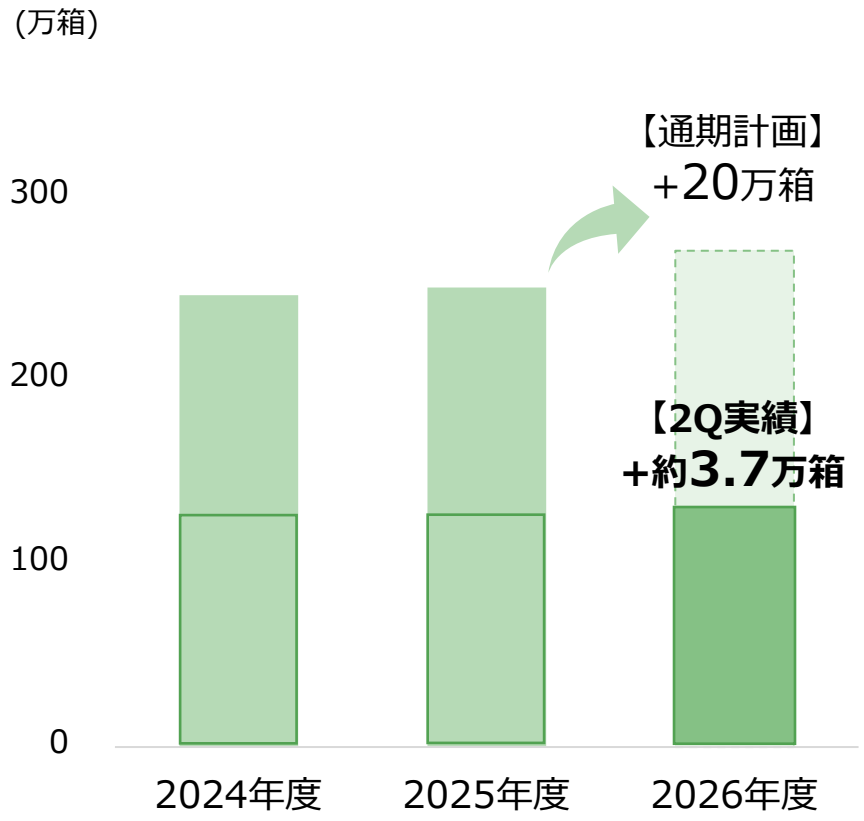
Jan Tack医師を招聘

- 欧州で臨床研究を実施中
- 消化器領域のトップオーソリティ

国内事業：睡眠障害への漢方治療の普及拡大

睡眠障害における漢方の有用性について情報提供活動の継続。段階的な伸長を見込む

睡眠関連4処方実売数量推移



主な実施施策

継続プロモーションにより、
睡眠障害における処方機会拡大を目指す

- 5月　不眠症Webセミナー
  医師向け新規資材
- 7月　「睡眠障害」の標榜可能になる
  標榜施設 約270件（9月末時点）
- 9月　不眠症Webセミナー
  患者様向け新規資材
- **11月　医師向け新規資材**
- **1月　不眠症Webセミナー**
  医師向け新規資材



エビデンスに基づく
漢方の有用性・
治療のポジショニング

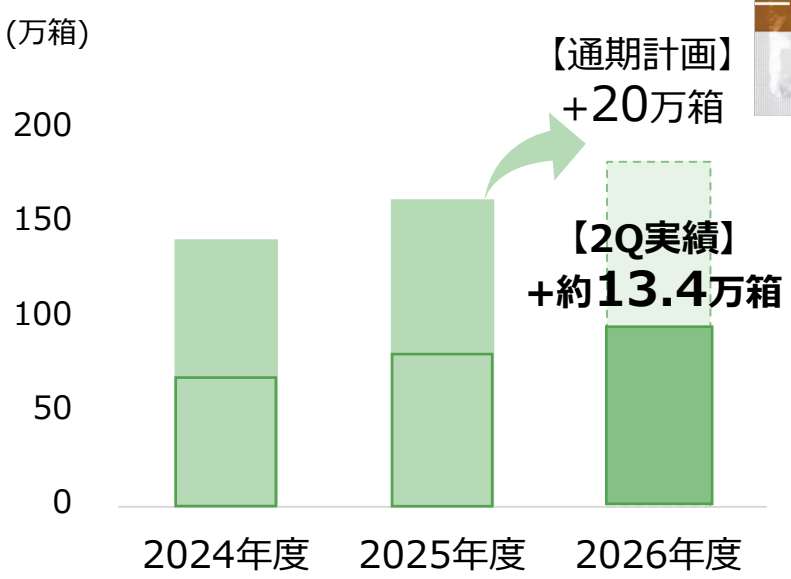
国内事業：重点領域を中心とした既存施策の伸長

上期に引き続き、継続施策の効果による伸長を図る

五苓散の伸長

気象病を中心として大幅伸長
頭痛・めまいを中心としたプロモーションを継続





重点領域の継続取り組み

がん領域

がんキャラバン2026

上期：7月・9月実施
各回9,000名超の医師が参加

下期：12月・2月実施予定
＋地域フォーラムの開催

上期実売数量伸長率
（前同比）



半夏瀉心湯
+7.7%



牛車腎気丸
+5.3%

女性関連領域

生理の悩み相談しようプロジェクト

賛同施設数：**2,100施設超**
26年3月末比 +300施設

女性領域大規模Web講演会

上期：6月・9月実施
各回6,000名超の医師が閲覧

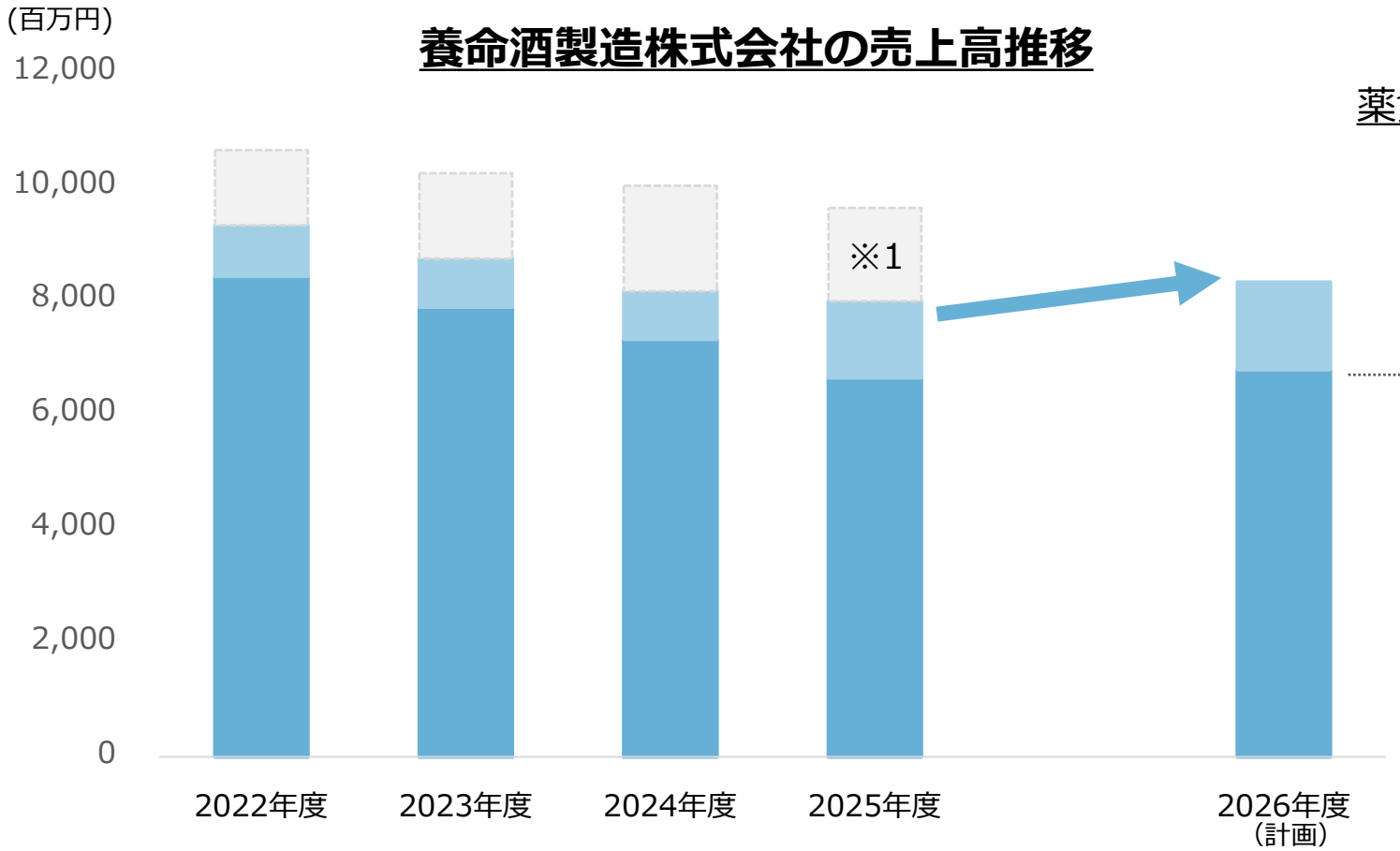
下期：10月・1月実施予定



加味逍遙散
+5.0%

国内事業（ヘルスケア）： 養命酒製造

- 薬用養命酒等に経営資源を集中し、戦略的に広告宣伝・営業施策を実施
- 2026年度から売上高を反転させ、早期に売上高100億円規模の実現を目指す



薬食同源「養生」製品等



幸健生彩　クロモジのど飴　五養粥　など

薬用養命酒



薬用養命酒

※1 点線部は事業譲渡または撤退した事業（くらすわ関連事業、太陽光発電事業等）
※2 当社グループへの連結開始は2026年9月。グラフは2026年度（2026年4月～2027年3月）を対象に作成

国内事業（ヘルスケア）： 薬用養命酒のマーケティング戦略

生活者の健康課題を起点にマーケティングを再構築し、薬用養命酒を日々の養生習慣を支えるブランドへ進化

現状

認知度に対して、購買層が限定的

- 50代以上を中心としたイメージ
- 高い認知に比べ、購入への広がりは限定的

目指す姿

日々の養生習慣を支えるブランドへ

- 冷え症
- 病中病後
- 加齢や体質による不調　など

薬用養命酒の効能・効果
次の場合の滋養強壮：胃腸虚弱、食欲不振、血色不良、冷え症、肉体疲労、虚弱体質、病中病後

新規CMの展開とクロスメディア戦略



薬用養命酒 テレビCM
（11月1日～）



養生の森 テレビCM
（11月5日～長野県にて放映）

お試しサイズ（300ml）の展開

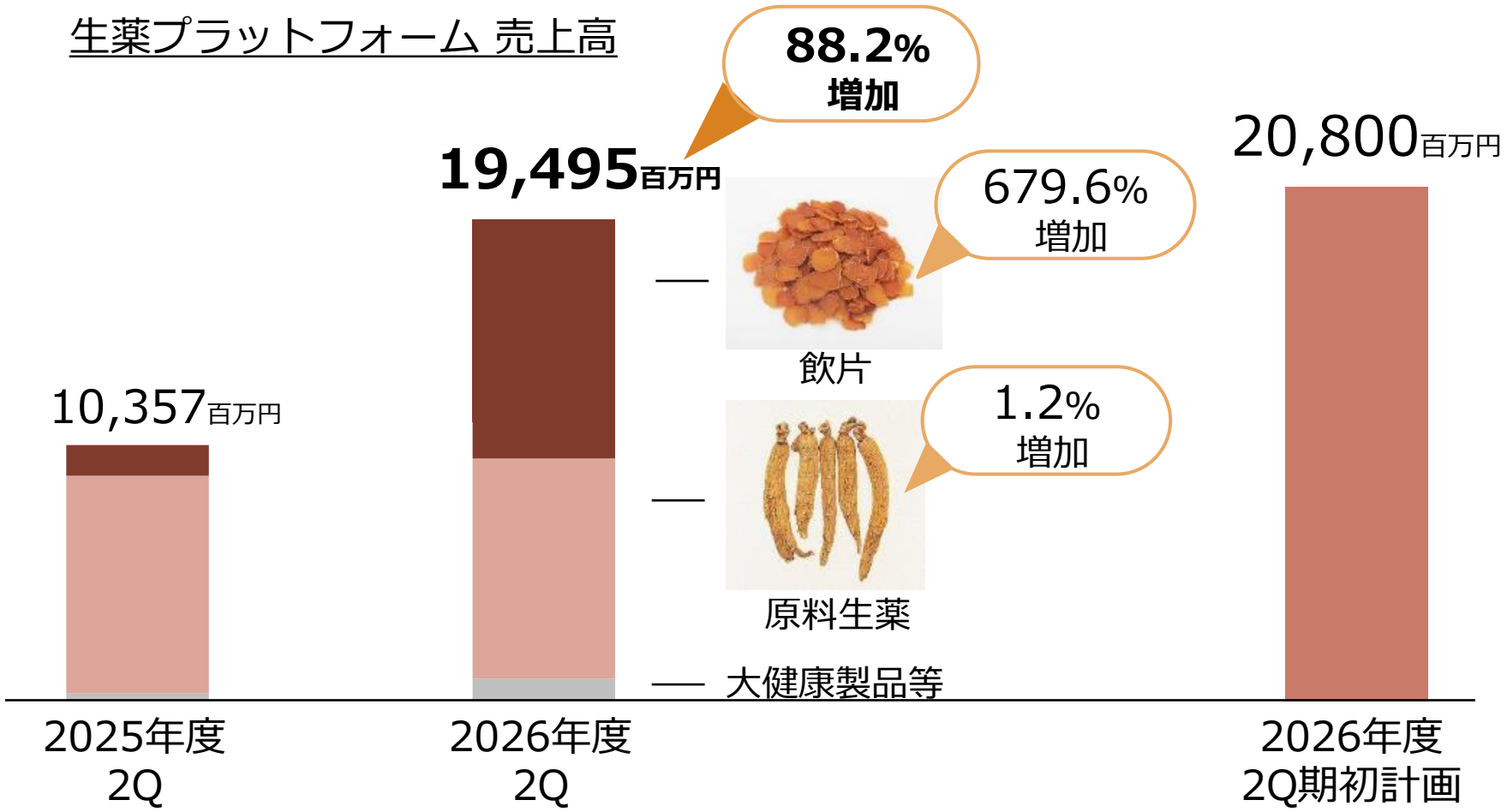


300ml　700ml*　1000ml*

＊従来品

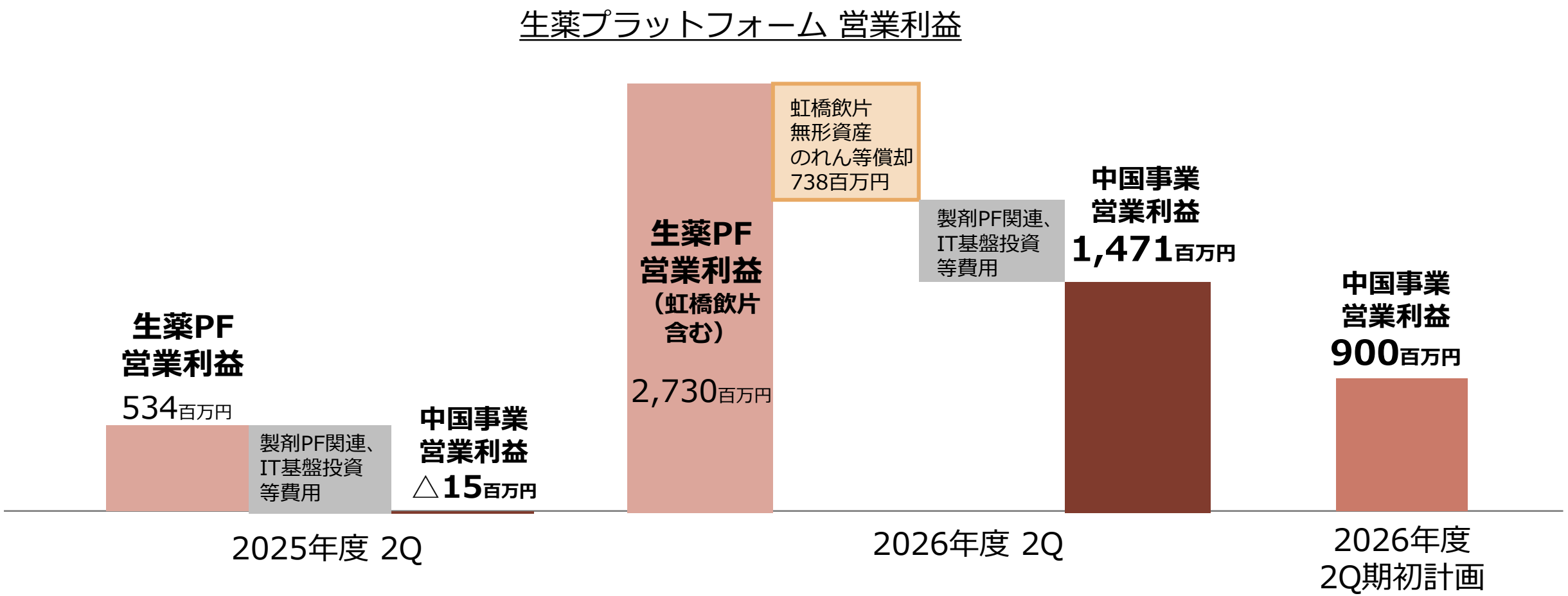
中国事業：生薬プラットフォーム　売上高

- **飲片は虹橋飲片の連結効果もあり売上高が前年同期比で大きく増加**
- **計画比では販売単価の下落や受診控え等の影響を受け、やや未達**



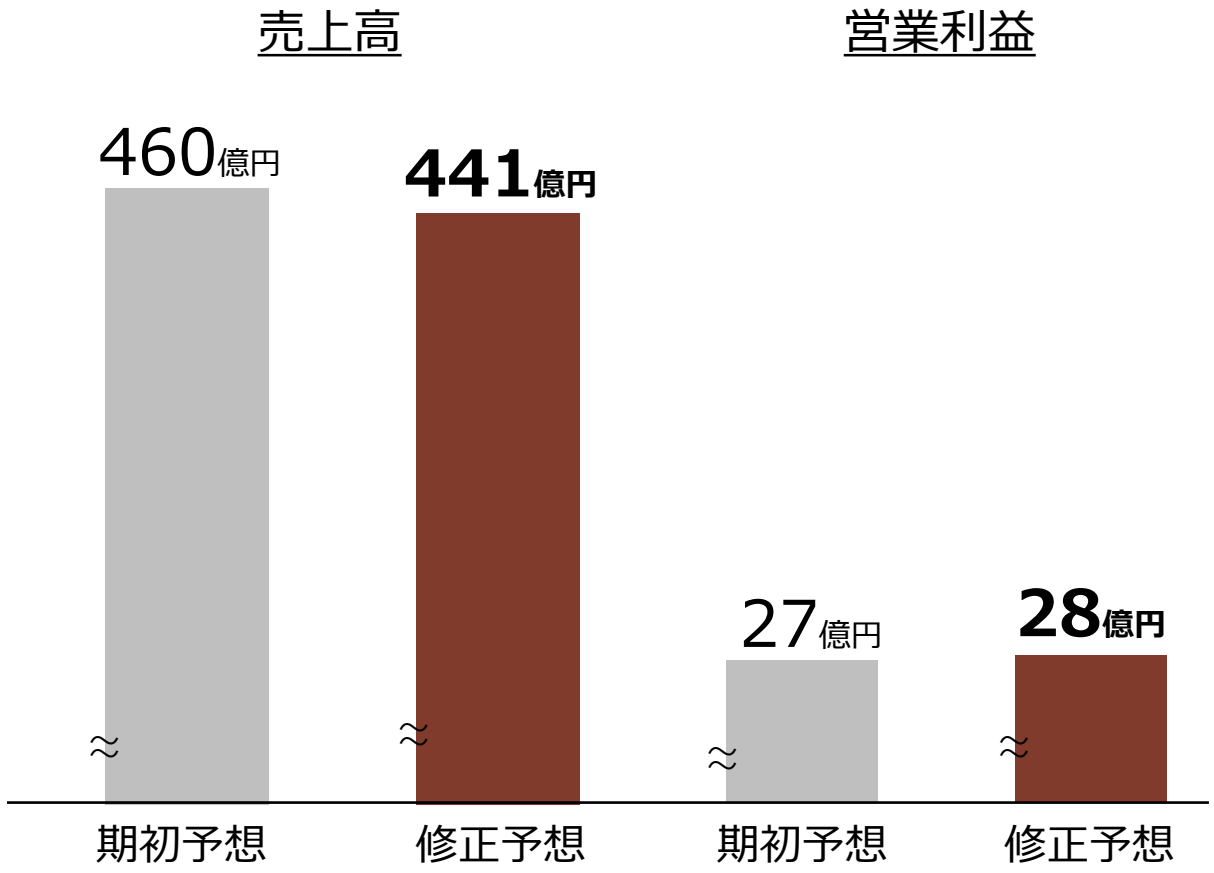
中国事業：生薬プラットフォーム　営業利益

- 虹橋飲片の連結により生薬PFの営業利益が大きく増加したことで黒字化
- 計画比では収益性を重視した重点顧客戦略や販売構成の改善により計画達成



中国事業：通期予想の修正

- **売上高は下方修正も、収益性を重視した事業運営により営業利益は上方修正**
- **来期以降の「一人一方」本格展開に向け、着実に準備を推進**



外部環境

- 生薬価格の下落による販売価格の低下
- 受診控えによる販売数量の減少

対応策

原価率改善

重点顧客戦略や
販売構成の見直し

販管費削減

コスト管理の徹底

売上高は下方修正も営業利益は確保

全社・カンパニー別ROIC：数値計画

養命酒製造連結後のヘルスケアカンパニーの計画を策定

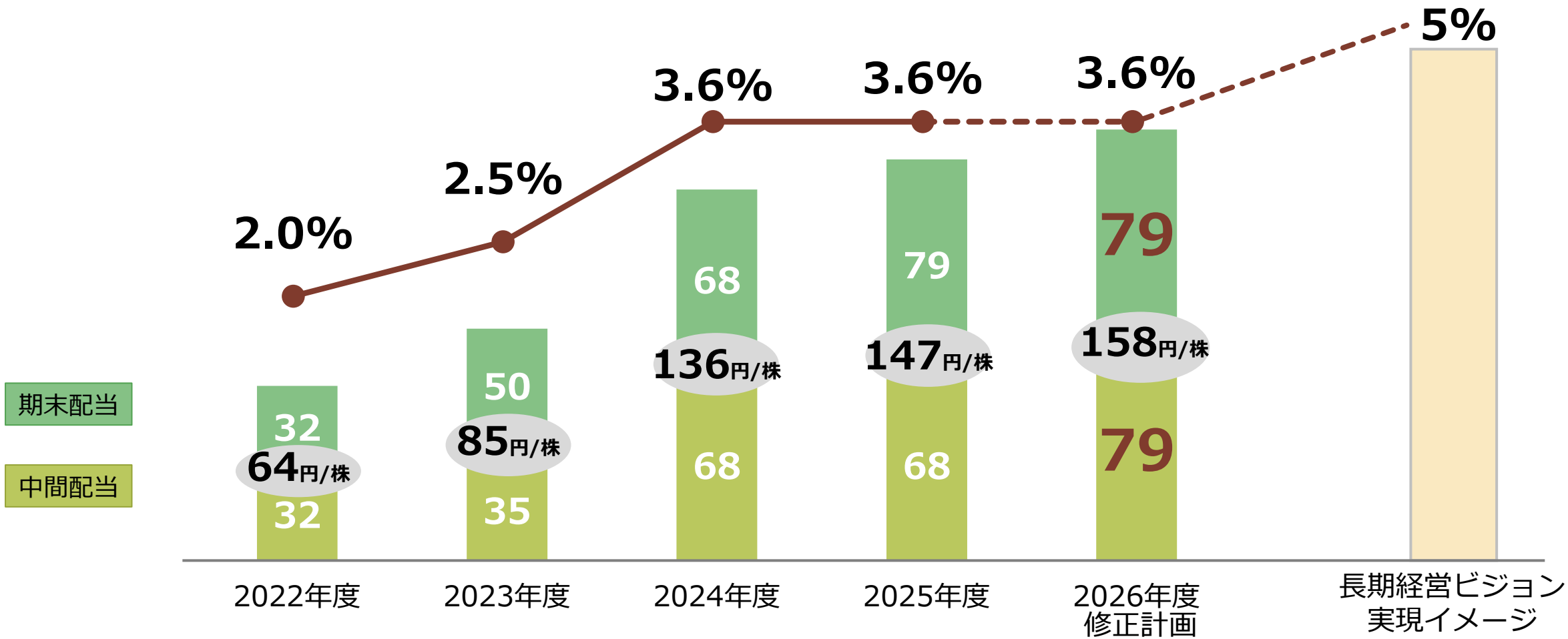
ROIC算出単位		事業の位置づけ・向上施策	2026年度 修正計画	2027年度 第2期中計	2031年度 目指す水準
全社連結（グループ全体）		-	**6.2%***	↗	**8%後半～9%程度**
医療用医薬品カンパニー		**安定成長・収益維持拡大**	**7.1%***	→	**7%後半～8%程度**
ヘルスケアカンパニー			**4.3%**	↗	**未定**
	一般用医薬品等 ・一般用漢方製剤　・薬用養命酒 ・バスハーブ　他	**戦略的育成**	**13.2%**	↗	**未定**
	薬食同源/養生製品 ・ジネリア、養巡スープ、のど飴他 ・養命酒製造（幸健生彩DX、五養粥他）	**先行投資 ～ 戦略的育成**	当面は売上成長に軸足、ROIC計画設定無し		
中国事業カンパニー	医療用医薬品カンパニー向け ・原料生薬、飲片の販売	• 医療用医薬品カンパニーと連動	ROIC計画設定無し		
	生薬プラットフォーム 外部販売事業	**生薬・飲片事業：重点成長** **大健康製品事業：戦略的育成**	**3.2%*** （参考） のれん償却除く **4.0%**	↗	**10%程度**

*2026年8月6日公表値から変更無し

株主還元

「財務健全性を確保した最適資本構成に基づく最適な配当」を追求

・DOEの維持・向上を基本とした株主還元方針に基づき、
年間配当は期初計画通り1株当たり158円（DOE 3.6%）を予想



本資料に関するお問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション部

ＩＲ推進課

investor_madoguchi@mail.tsumura.co.jp

本資料に関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含んでおります。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が､万が一製品の欠陥､予期せぬ副作用などの要因により販売中止、または売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。
- 本資料には、医薬品（開発品目を含む）に関する情報が含まれておりますが、それらは宣伝広告、医学的なアドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料において提供される資料ならびに情報は、予告なしに、変更・追加・削除されることがあります。

Appendix

国内事業：重点3領域

社会課題である重点3領域を中心に情報提供活動を実施

育 育薬処方 G Growing処方

高齢者関連領域

フレイルにともなう諸症状

G 人参養栄湯
G 加味帰脾湯
G 補中益気湯
育 牛車腎気丸
＋関連処方

精神・神経疾患

育 抑肝散
＋関連処方

循環器疾患における周辺症状

G 五苓散
＋関連処方

消化器疾患

育 大建中湯
育 六君子湯
＋関連処方

がん領域（支持療法）

副作用の軽減など

育 六君子湯
育 半夏瀉心湯
育 牛車腎気丸
G 加味帰脾湯
G 補中益気湯
＋関連処方

女性関連領域

産婦人科疾患

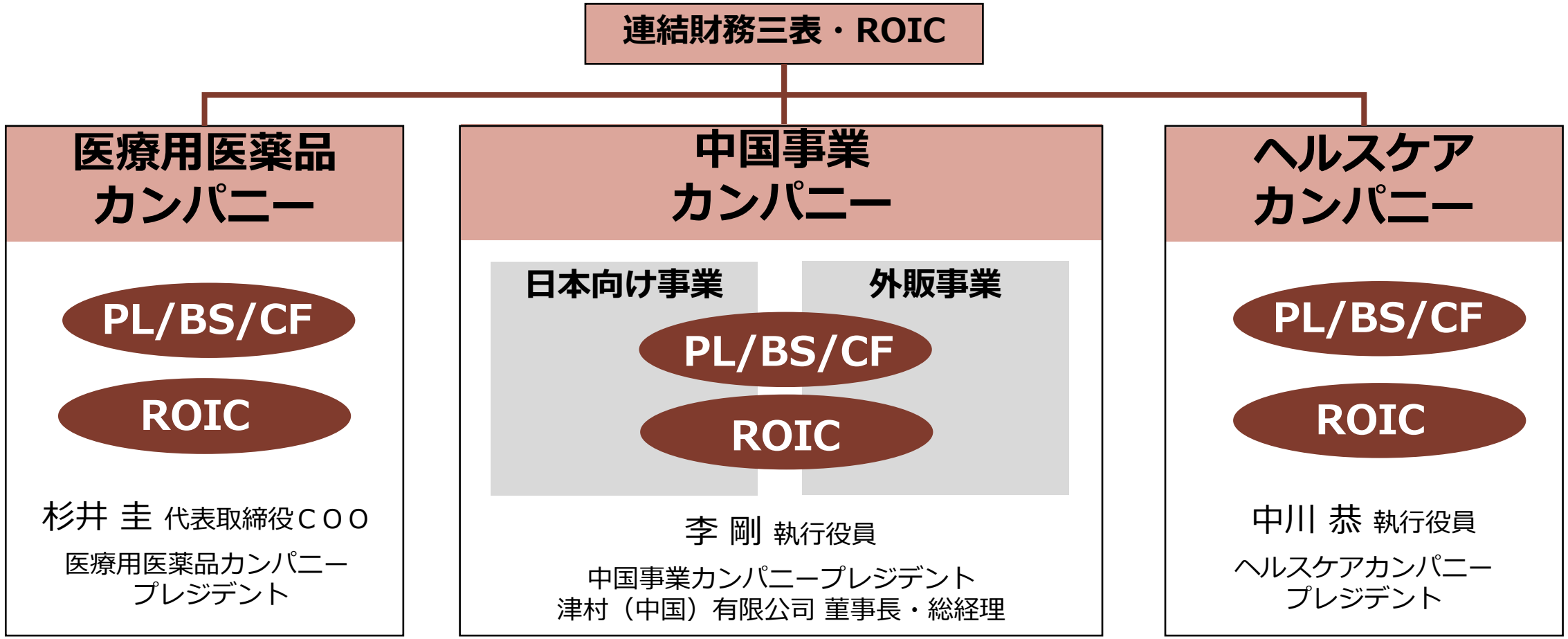
G 加味逍遙散
G 加味帰脾湯
＋関連処方

その他

育 大建中湯
G 五苓散
＋関連処方

カンパニー制の導入

・権限委譲による意思決定の迅速化
・経営者人財の早期養成
・独立採算性（ROIC)による責任の明確化
・収益事業多柱化の早期実現



ROIC算定式

$$ROIC = \frac{NOPAT}{投下資本（運転資本＋事業用固定資産）}$$

【前提】

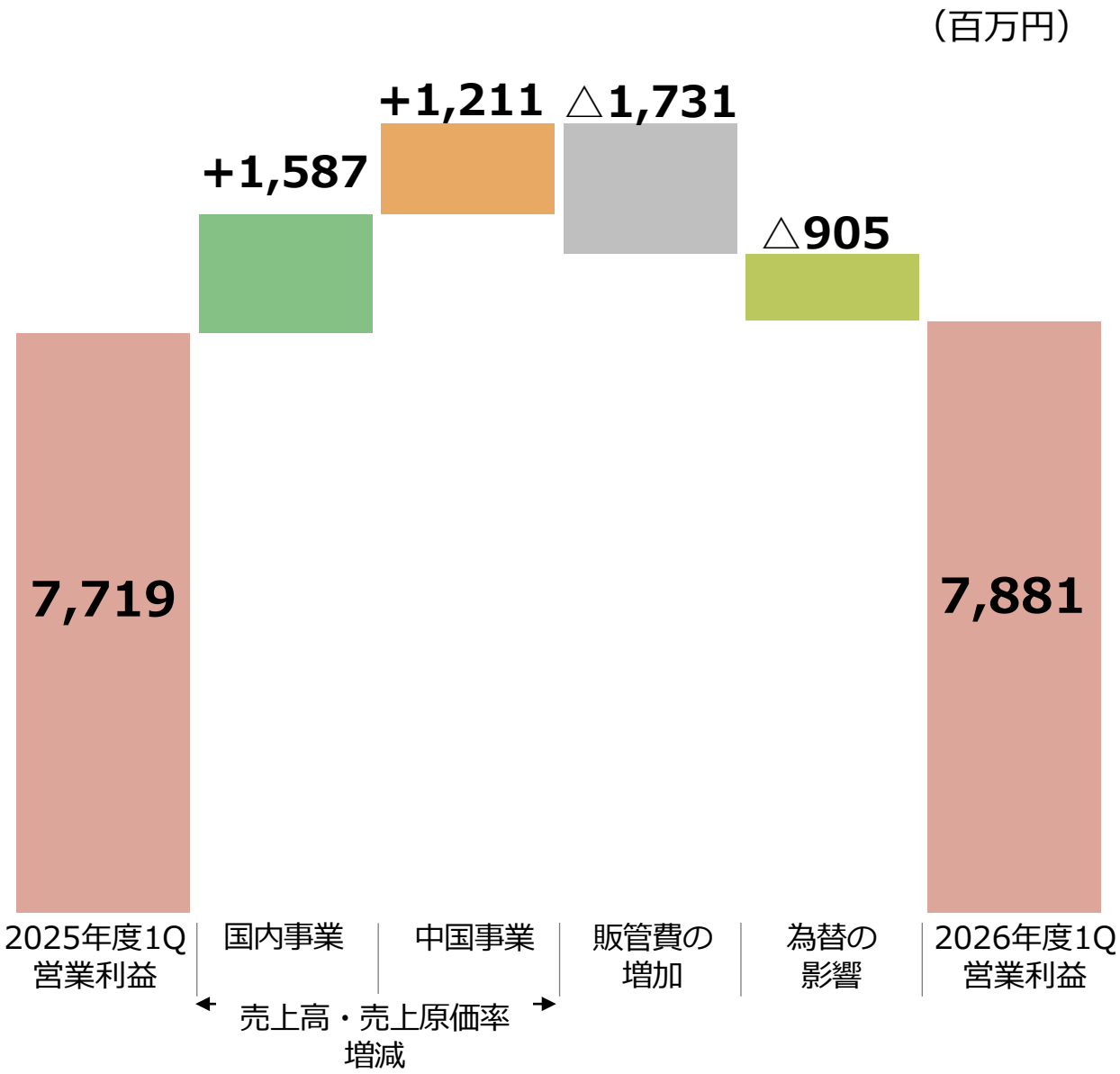
- 各カンパニーROICは、所属する構成会社を合算し算出
- NOPAT：直近1年間の損益
- 投下資本：直近1年における期首期末の平均値

カンパニー別 2026年度通期計画（10/28修正計画）

【百万円】	医療用医薬品カンパニー	ヘルスケアカンパニー	中国事業カンパニー	（参考）10/28 公表値	
				国内事業	中国事業
売上高	**162,300**	**12,300**	**112,400**	**174,400**	**44,100**
営業利益	**29,100**	**600**	**11,600**	**35,600**	**2,800**
営業利益率	17.9%	4.9%	10.3%	20.4%	6.3%

＊カンパニー別計画はカンパニー間取引を含む計画値

第1四半期 営業利益の増減要因（前年同期比）



※ 第1四半期決算公表値を第2四半期フォーマットにあわせて組み換え

国内事業　+1,587百万円	
売上高の増加（販売数量、販売構成）	+1,315
売上原価率の低下	+272
生薬費	+294
原資材費	△151
加工費	+129

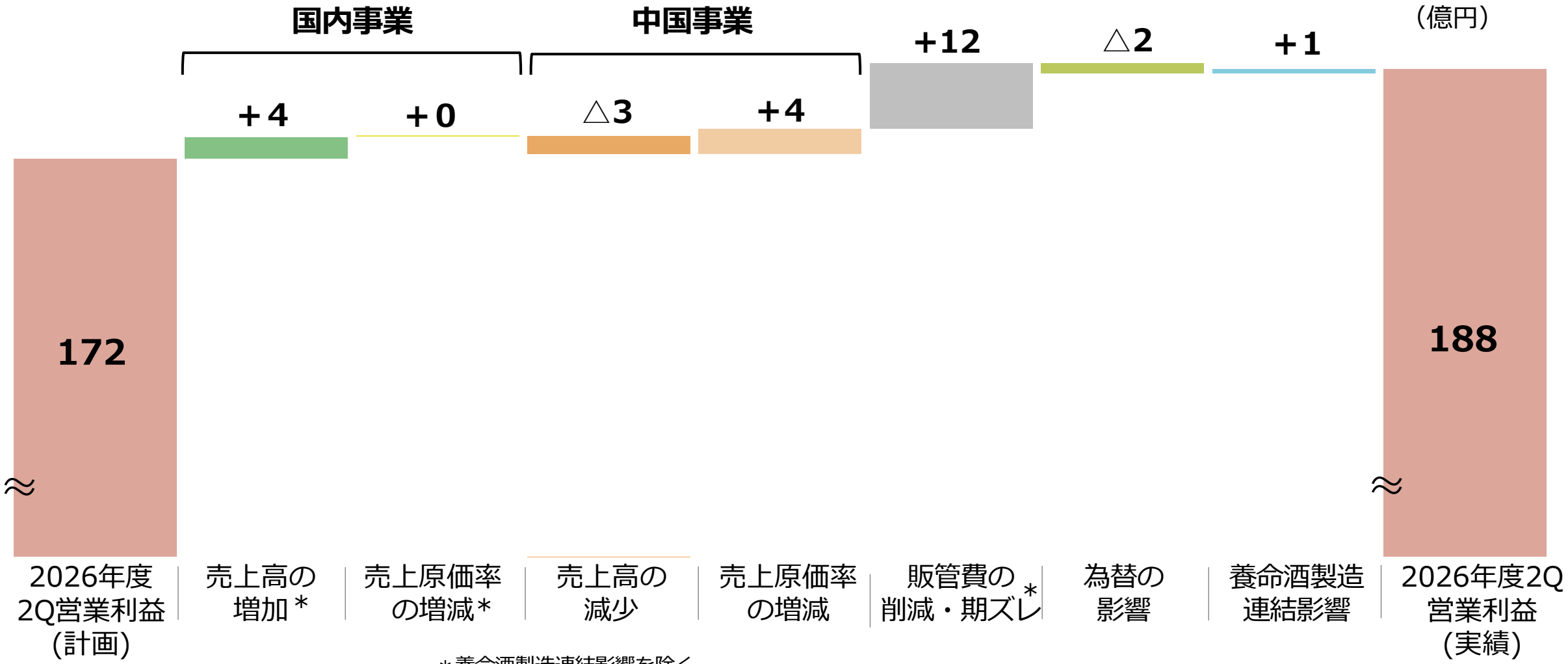
中国事業　+1,211百万円	
売上高の増加	+460
売上原価率の低下	+751

販管費の増加　△1,731百万円	
虹橋飲片の連結（うち無形資産、のれん等償却費：△363）	△799
給料諸手当*	△315
研究費*	△174
その他*	△443

為替の影響　△905百万円

＊ 虹橋飲片連結影響を除く

第2四半期 営業利益の増減要因（上期計画比）



＊養命酒製造連結影響を除く

国内事業：内部取引影響

（億円）

	2025年度実績			2026年度実績			営業利益増減影響
	内部取引影響＊	未実現利益	内販粗利	内部取引影響＊	未実現利益	内販粗利	
1Q	25	△7	32	24	△16	41	△0
2Q	61	△13	74	78	△20	98	17
3Q	94	△24	119	―	―	―	―
4Q	146	△27	174	―	―	―	―

＊未実現利益＋内販粗利

為替レートの推移

為替（円/元）期中平均レート　：損益計算書の連結

	1Q	2Q	3Q	4Q	期初計画	修正計画
2024年度	20.63	21.07	20.99	21.04	—	—
2025年度	20.94	20.44	20.50	20.81	—	—
2026年度	22.67	23.07	—	—	22.60	23.50

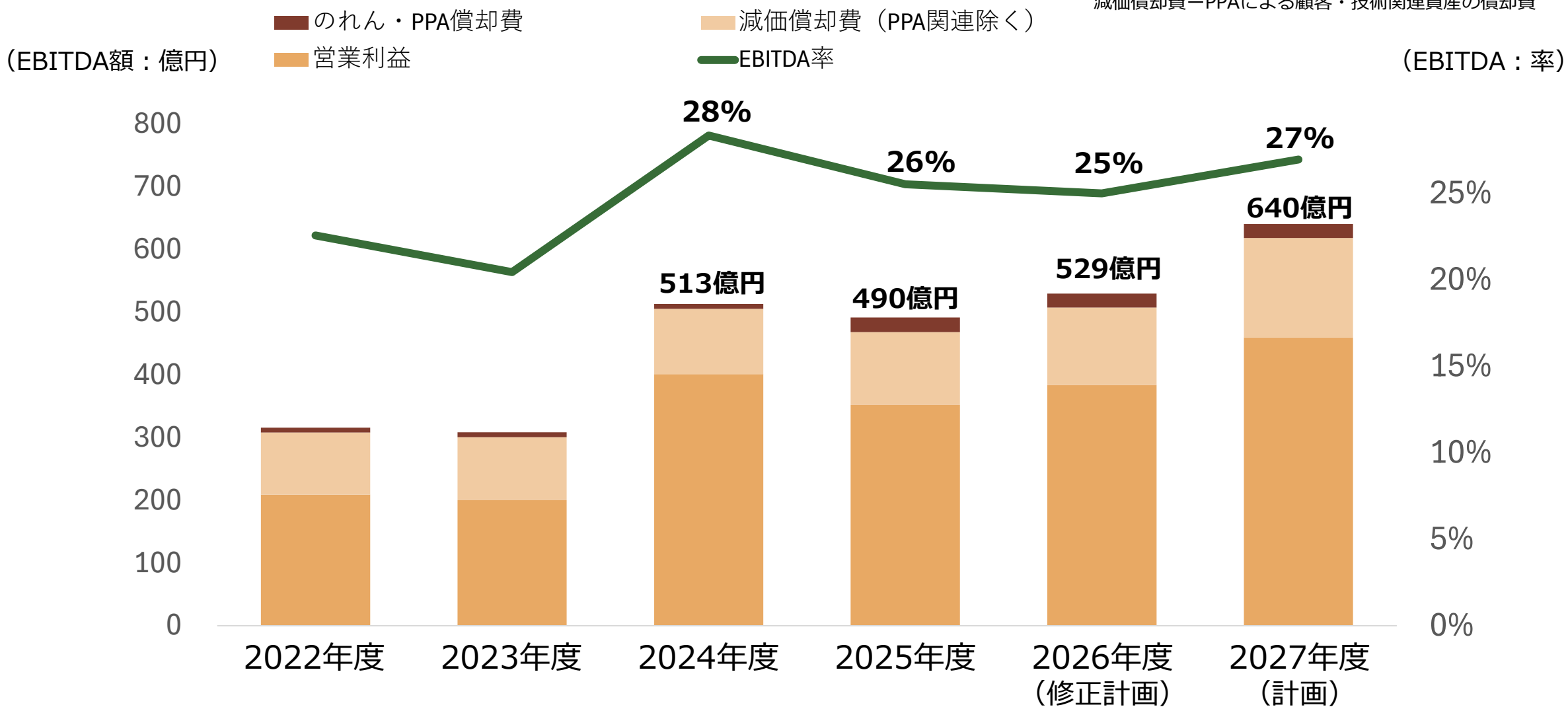
為替（円/元）期末レート　：貸借対照表の連結、為替差益（営業外損益）

	3月末	6月末	9月末	12月末
2024年	20.83	22.04	20.46	21.67
2025年	20.59	20.19	20.88	22.36
2026年	23.11	23.87	23.45	—

※原料生薬や漢方エキス粉末（中間製品）の輸入に関しては為替予約をしているため、上記レートとは異なります。

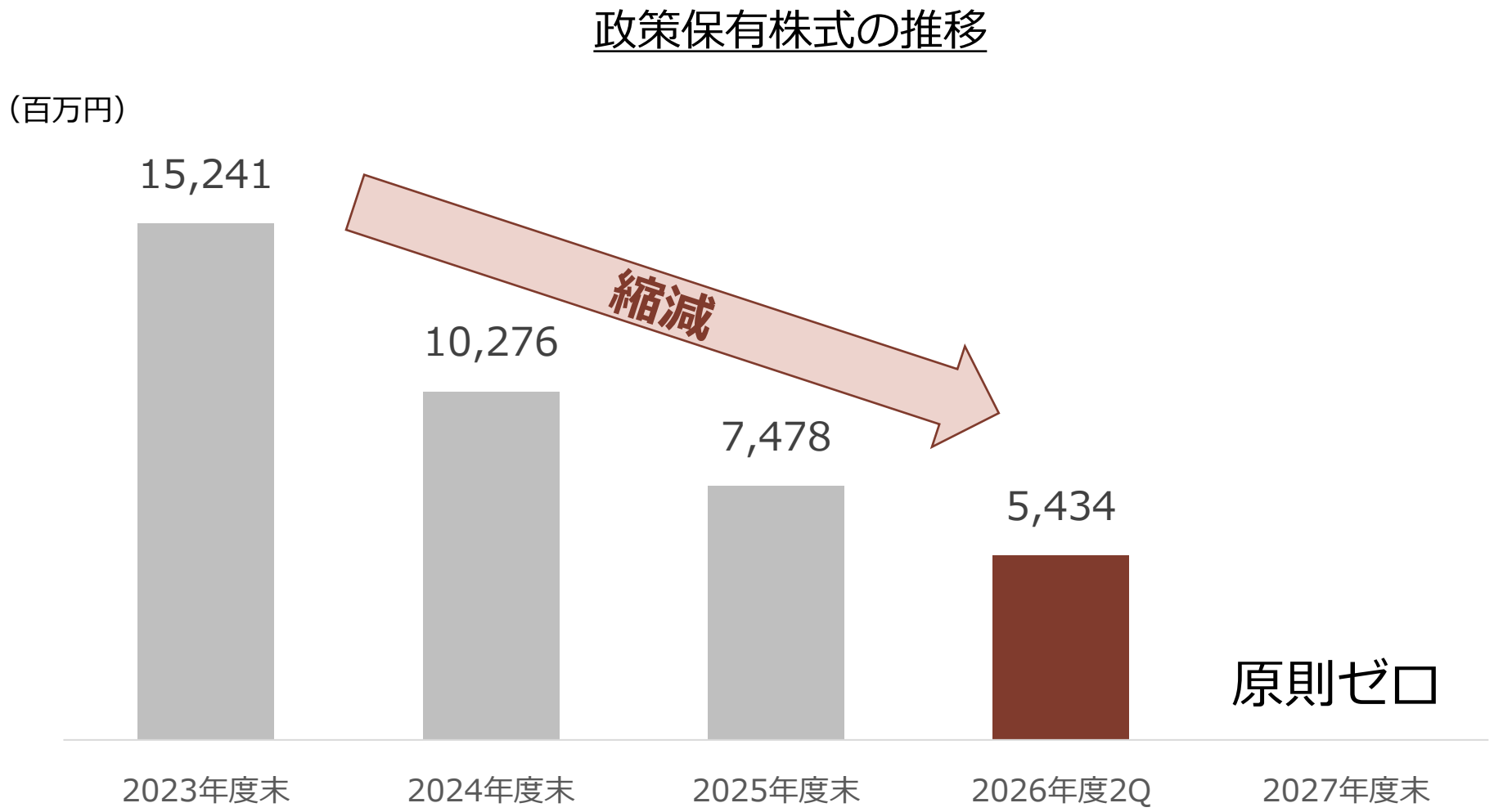
EBITDAの推移

【のれん・PPA償却費の算出条件】
盛実百草：のれん＋PPAによる顧客・技術関連資産
虹橋飲片：のれん＋PPAによる顧客・技術関連資産＋棚卸資産等
【減価償却費（PPA関連除く）の算出条件】
減価償却費－PPAによる顧客・技術関連資産の償却費



政策保有株式の縮減

政策保有株式は2027年度末までの原則ゼロを目指し、継続的に縮減を実施



「品質という約束」動画シリーズ

・ツムラの価値創造を支える品質基盤の取り組みを動画化
・生薬の栽培・調達から製造、情報提供までの一貫した品質確保への取り組みを紹介



